



## 第18期【総会・腎臓病勉強会】開催

阪大腎友会は平成28年11月12日(土)に第18期総会/勉強会を開催しました。

当会は平成11年発足以来今年で18年目に入ります、現在会員数が減少傾向にあり会の運営が厳しい状況で今後存続について検討する時期が必要になってくると思われます。

今回の会場は、「オンコロジーセンター5階の会議室」で13時30分受付14時開催となりました。会場は隣接ホールの音声が漏れてきて、少し先生のお話が聞きにくいところもあり残念でした。

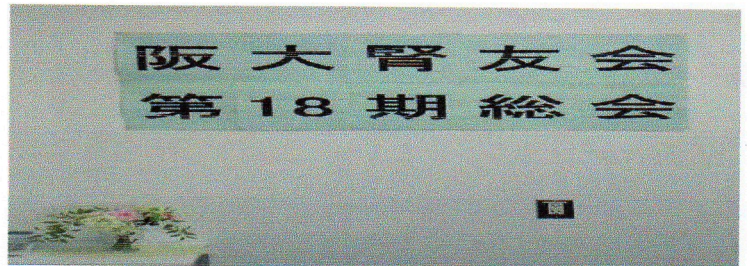
協力企業様による低たんぱく関連食品の展示も従来どおり実施できました、ご協力を頂きましたのは、ヘルシーフード様、キッセイ薬品様、ファンデリー様 以上です。

### 《 第18期 総会 》

第17期活動報告・会計報告が承認されました。

(別紙：第17期活動報告・会計報告 参照)

「春のつどい・食事会」について、昨年勉強会が併設出来ず、「食事会」の平日開催のみとなった事に対して、次回の「春のつどい・食事会」は日曜日開催を前提に勉強会も併設して検討することを決定しました。



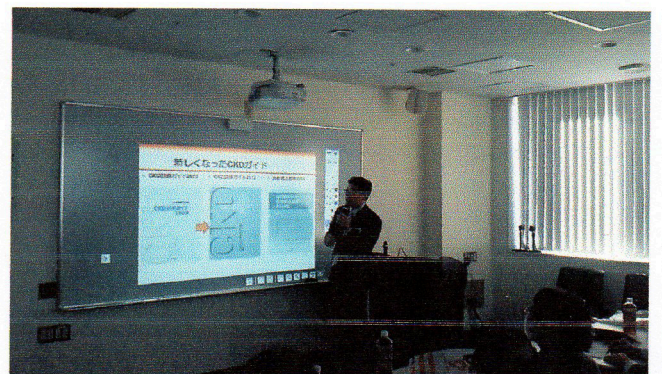
### 《 腎臓病 勉強会 》

【 低栄養に気をつけよう～フレイルを知っていますか?～ 】

講演：腎臓内科 科長 猪阪善隆教授

① 年齢別 CKD 患者の頻度は、やはり高齢者が高い

② 加齢に伴う腎機能 (GFR) 低下は顕著



③ 70歳以上の CKD 患者は米国でも増加傾向

#### ④ 蛋白摂取がよくない？それともリン？

- ・リンが溜まりやすい（CDK 患者における血清リンの死亡リスクは高い）→リン摂取量はタンパク摂取量に比例→タンパク制限

#### ⑤ 新しくなった CDK ガイド 《緩和されたタンパク制限》

##### 《慢性腎臓病に対する食事療法基準 2014》

- ・たんぱく質は、標準治療としては、ステージ G3a では 0.8~1.0g/Kg 標準体重/日、ステージ G3b 以降では 0.6~0.8g/Kg 標準体重/日で指導する。
- ・糖尿病腎症などはステージ G4 以降で 0.6~0.8g/Kg 標準体重/日の指導としてもよい。
- ・より厳格なたんぱく質制限は、特殊食品の使用経験が豊富な腎臓専門医と管理栄養士による継続的な患者指導のための整備された診療システムが不可欠である。

※十分なエネルギーの確保が必要で、以下の発症に十分注意する。※

##### 《サルコペニア》《フレイル》《Protein Energy Wasting(PEW)》など

【 腎不全患者の栄養障害は、(PEW) と表現される病態である。それは、単なる低栄養でなく、食欲低下、筋肉の異化亢進、エネルギーの絶対的不足を伴い栄養障害という形で生じる。 】



##### 《サルコペニア》

- ・握力低下・歩行速度低下・骨格筋の低下・筋力の減少・

##### 《フレイル》

- ・筋力の減少・多臓器予備能低下・ストレス対応低下・

##### 《PEW》

- ・筋蛋白崩壊・体内の蛋白低下・エネルギーの低下・

※猪阪先生に、いろいろな質問に答えていただきました。※

※協力企業様により、商品展示をしていただきました。※

今回ご協力いただいた企業.....

※キツセイ薬品工業(株) 様

※(株)ファンデリー 様

※ヘルシーフード(株) 様

・お・し・ら・せ・

平成 29 年 3 月 19 日 (日) に

「春のつどい・食事会」開催予定

